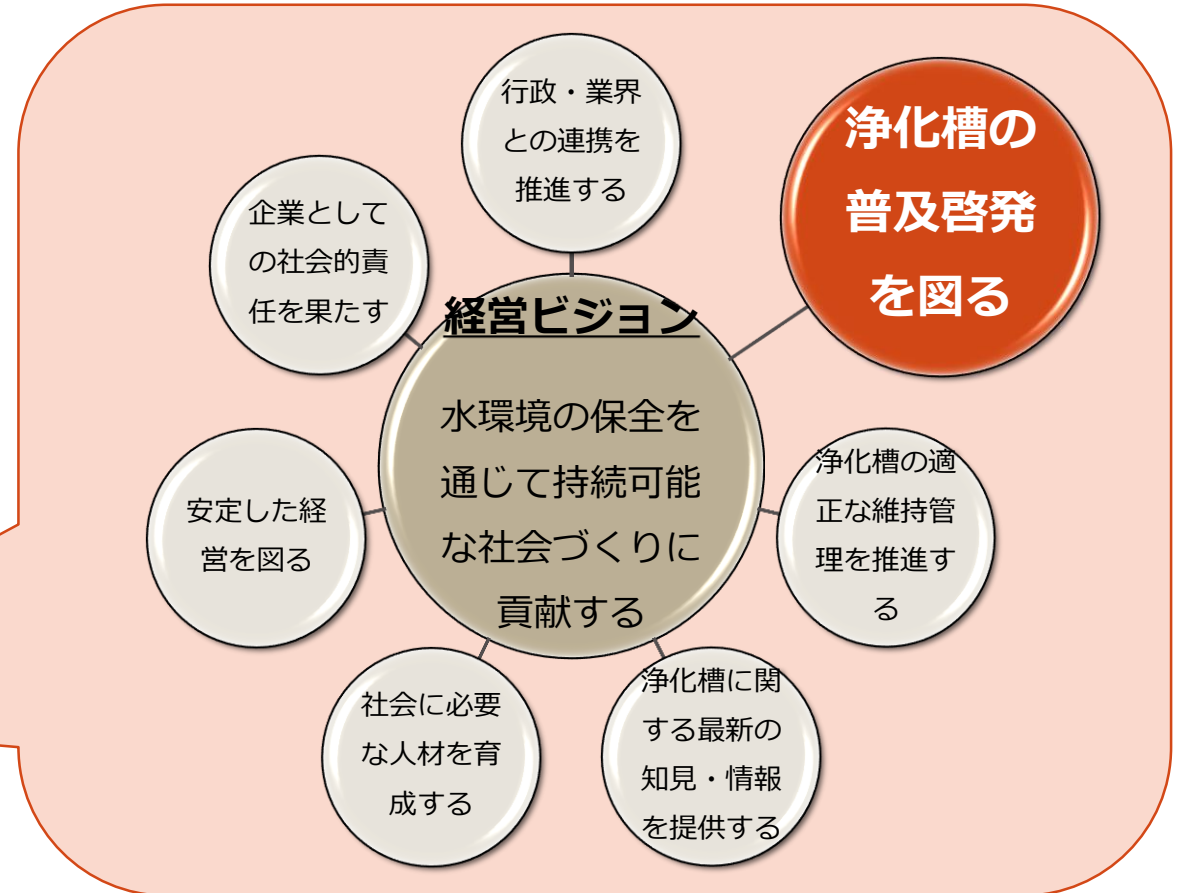
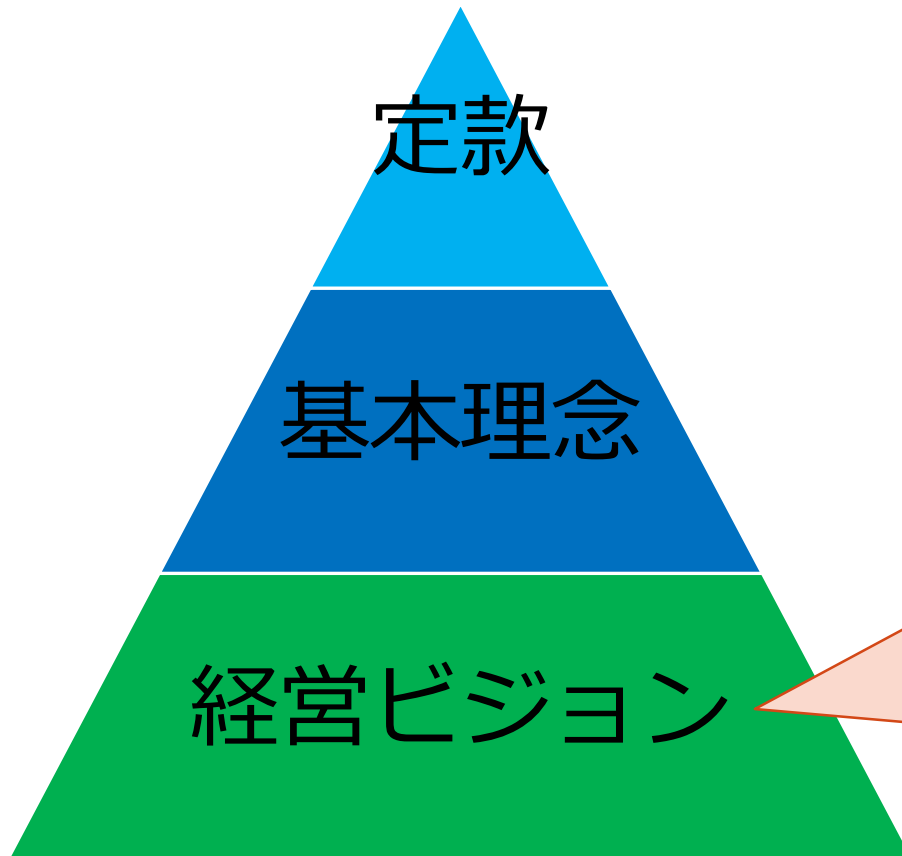


# 浄化槽の普及・啓発の取り組みについて

---

一般財団法人福岡県浄化槽協会 日野 絢

# 当協会における「浄化槽の普及・啓発」の位置づけ



# 「浄化槽の普及・啓発」の取り組み 事例について

---

浄化槽シンポジウム

環境フェア

適正管理推進キャンペーン

出前講座・水辺教室

浄化槽ポスターコンクール

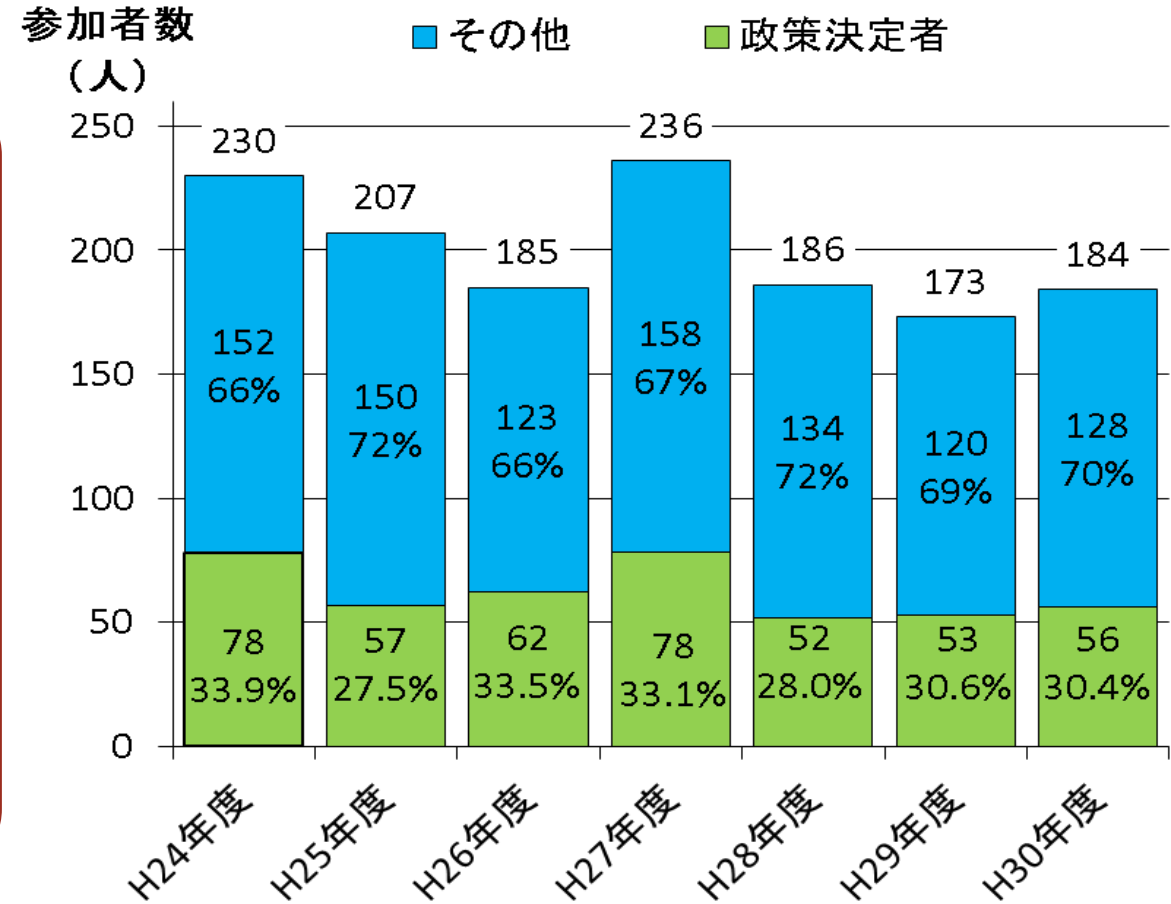
# 浄化槽シンポジウム

- 目的 : 地域の実情にあった生活排水処理計画の策定に有用な情報の提供  
対象 : 政策決定者  
方法 : 年に1回、シンポジウムを開催



## 現状と実績

- ・ 近年は180人前後で推移
- ・ 平成27年度、浄化槽トップセミナー併催  
➔ 前年比約30%増
- ・ 政策決定者等※<sup>1</sup>の割合は30%前後  
(※<sup>1</sup> 市町村長、行政職員、議員など)

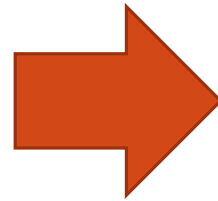


**メインターゲットである「政策決定者等※<sup>1</sup>」の参加数の増加が課題**

より多くの政策決定者等に参加してもらうために・・・

### これまでの改善策

- ・ 議会日程を考慮した開催日
- ・ 魅力あるプログラムの検討



大幅な改善効果はなかった

### 課題への対応策

- ・ 他の類似イベントとの併催  
(トップセミナーと併催した平成27年度は30%増)
- ・ 浄化槽整備区域におけるコンパクト開催  
    ➡ ワークショップなどへの形態の変更

# 環境フェア

- 目的 : 水環境保全に対する関心を高める  
対象 : 県民  
方法 : 各自治体が主催する催しに参加





一般財団法人 福岡県浄化槽協会

1. 問題です!  
いかに汚染物質を削減しているのか、その削減率を測ってしまおう。削減率は何パーセント?

2. 答え  
削減率の計算方法  
削減率 = (削減した量 / 削減前の量) × 100

3. 水のゆくえ  
生活排水  
31% 57%

4. もし、そのまま流したら...  
下水道や浄化槽がないところでは、生活排水がそのまま川や海に流れてしまいます。川や海が汚れてしまいます。

5. 私達が1日に使う水ってどれくらい?  
約245L  
トイレ 41% 66.5%  
風呂 56.5% 55%

6. 水をよこさないために...  
洗濯機を使う前には、お風呂の汚れや油をトッシュペーパーで拭き取る!  
シャンプーや石けんを流さない!

啓発用パネル

タブレット型PCを使った  
浄化槽クイズ

浄化槽模型

浄化槽模型

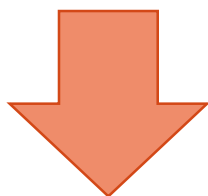
啓発品の  
トイレットペーパー



### 現状と実績

平成23年度まで

目的：幅広い層にアピール  
成果指標：環境フェアへの参加数

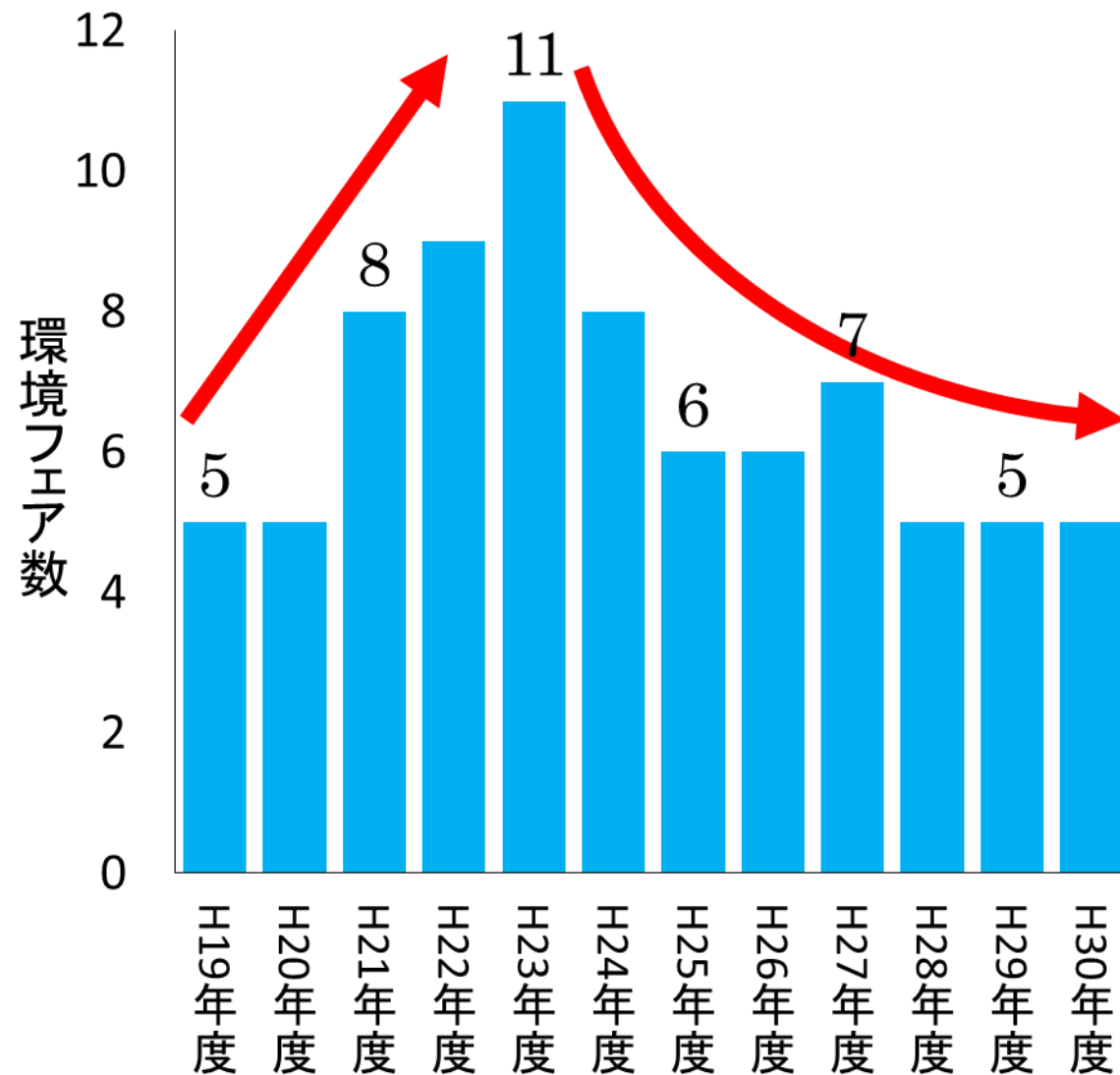


重要性  
優先性

成果指標の変更

平成24年度以降

目的：浄化槽使用者層にアピール  
成果指標：浄化槽整備区域内での参加数



# 浄化槽が下水道等と適切に共存していくために・・・

## これまでの取組・今後の取組

これまで

下水道整備区域を含む全区域

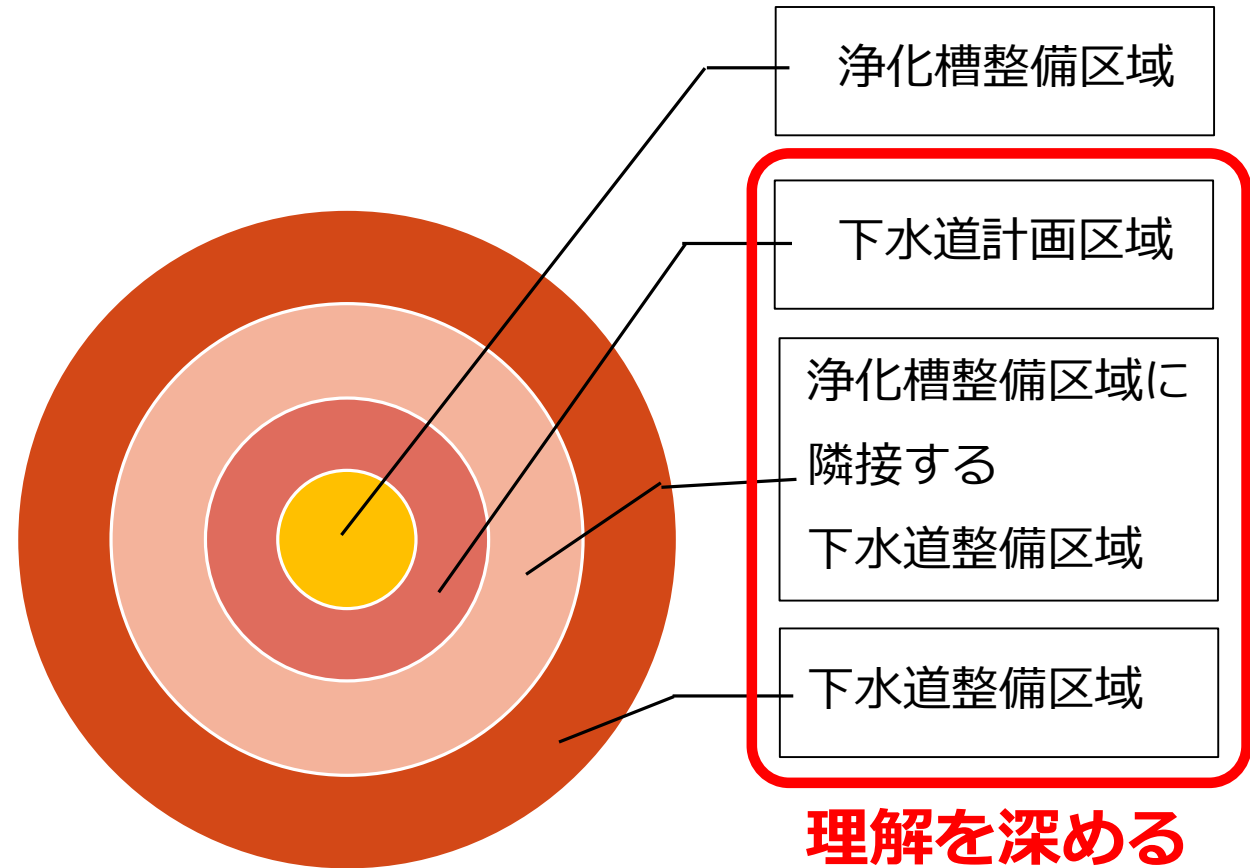
↓ 焦点を絞る

浄化槽整備区域

今後

↓ ステップアップ

- 浄化槽整備区域
- 下水道計画区域（財政逼迫）
- 隣接する下水道整備区域



# 適正管理推進キャンペーン

目的：浄化槽の保守点検及び清掃並びに法定検査の必要性について啓発  
対象：浄化槽管理者  
方法：大型店舗など、街頭におけるキャンペーン



## 啓発品など

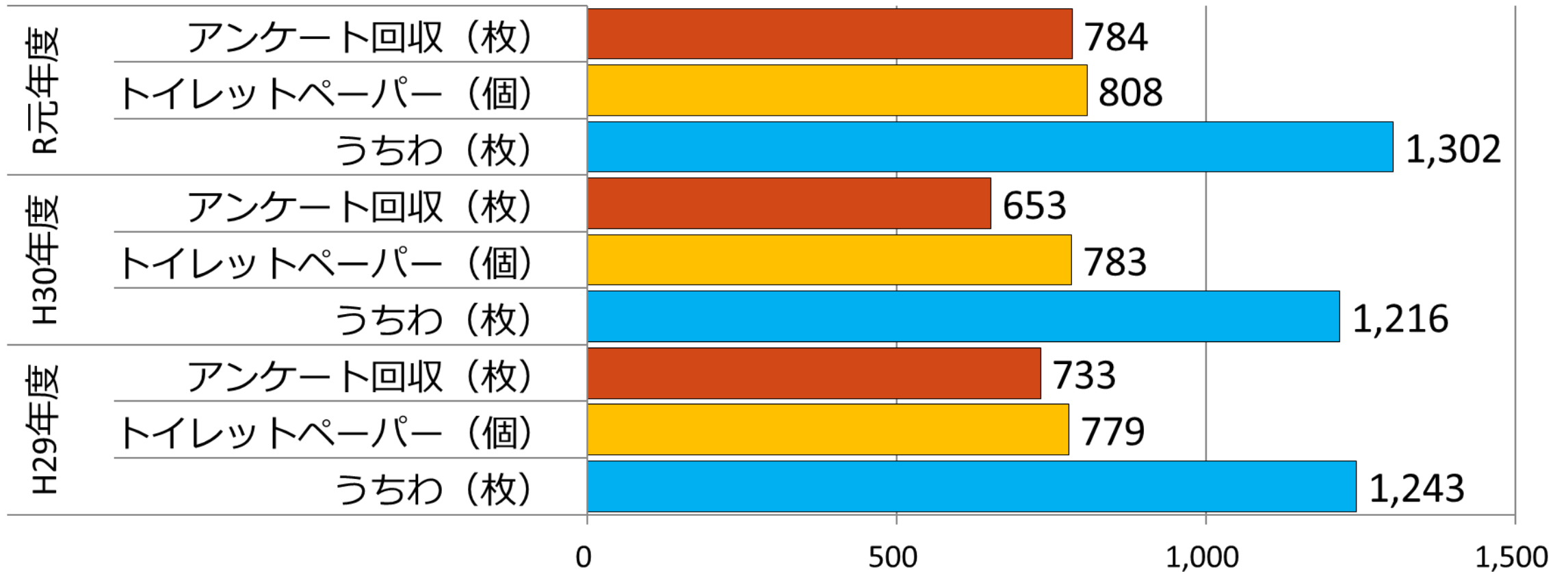
維持管理の必要性を訴える「うちわ」

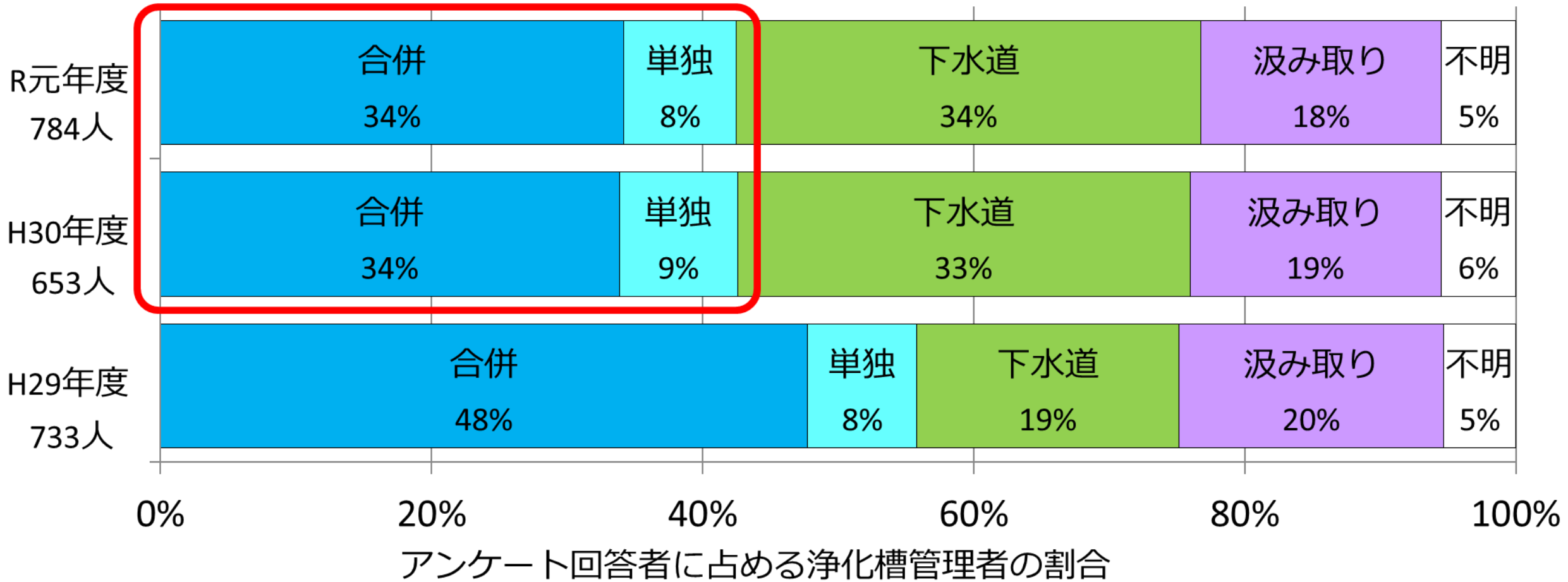
トイレトペーパー  
(アンケート回答率を向上)



## 現状と実績

成果目標：うちわ配布数1,200枚（1,200人にアプローチ）





**浄化槽管理者の割合が少ないことが課題**

より多くの浄化槽管理者へアプローチするために・・・

### 問題点

効率よく浄化槽管理者に接触することが困難  
福岡県は下水道普及率が比較的高い → 下水道整備区域から来客



実施手法の見直し

### 対応策

より多くの浄化槽管理者に、効率よく情報発信できる方法を検討  
→ 浄化槽整備区域における地域密着型イベントでの実施 など

# 出前講座

目的：生活排水処理技術や環境保全等の環境問題に対する知識を付与  
対象：主に小学生  
方法：学校教育の場を活用した水環境保全に関する環境学習を実施

CODパックテスト



紙の溶解度の比較実験



浄化槽の見学



微生物の観察





# 水辺教室

県の保健福祉環境事務所主催の水辺教室に参加

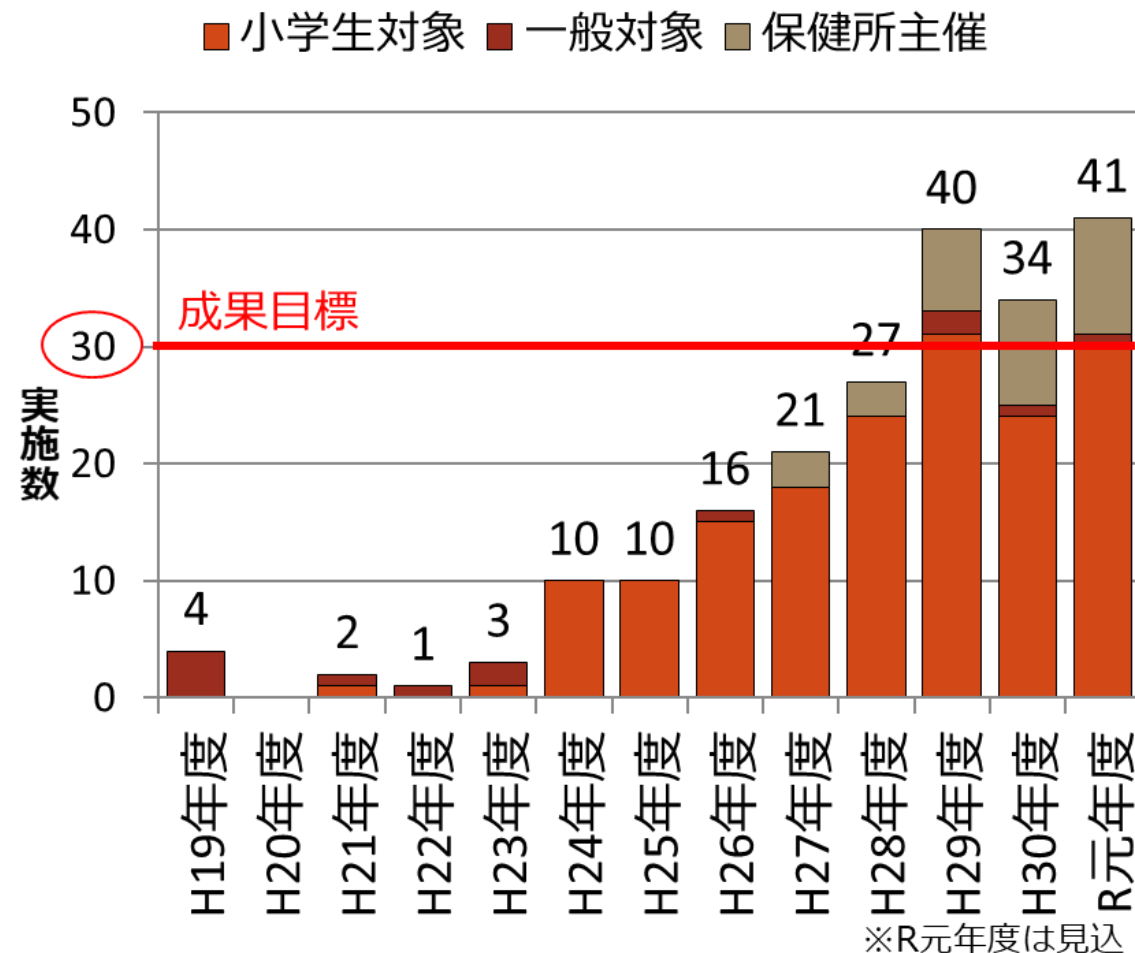


## 現状と実績

- 成果指標は実施回数
- 年々実施数は増加傾向
- 令和元年度は目標を達成見込

今後も目標はクリア見込み

実施数を維持しつつ、新たな課題に取り組む



**「質の向上」と「浄化槽整備区域での実施数増加」が課題**

## さらなる質の向上のために・・・

## これまでの取組

- 講座カリキュラムの見直し
- 環境教育インストラクターの取得推進
- 実施後のアンケート様式変更

## 今後の取組

- カリキュラムの改善
- 関連資格の積極的取得
- フォローアップ研修の受講

## 浄化槽整備区域内での実施数増加のために・・・

## これまでの取組

実績のない浄化槽整備区域の小学校を  
戸別訪問

## 今後の取組

成果指標変更  
浄化槽整備区域での小学校数

# 浄化槽ポスターコンクール

目的 : 水環境保全について考える機会をつくり、浄化槽を身近なものとして認知してもらう  
対象 : 小学生  
方法 : ポスターコンクールを実施し、原画は普及啓発に二次利用

展示の様子



作品を二次利用した啓発品

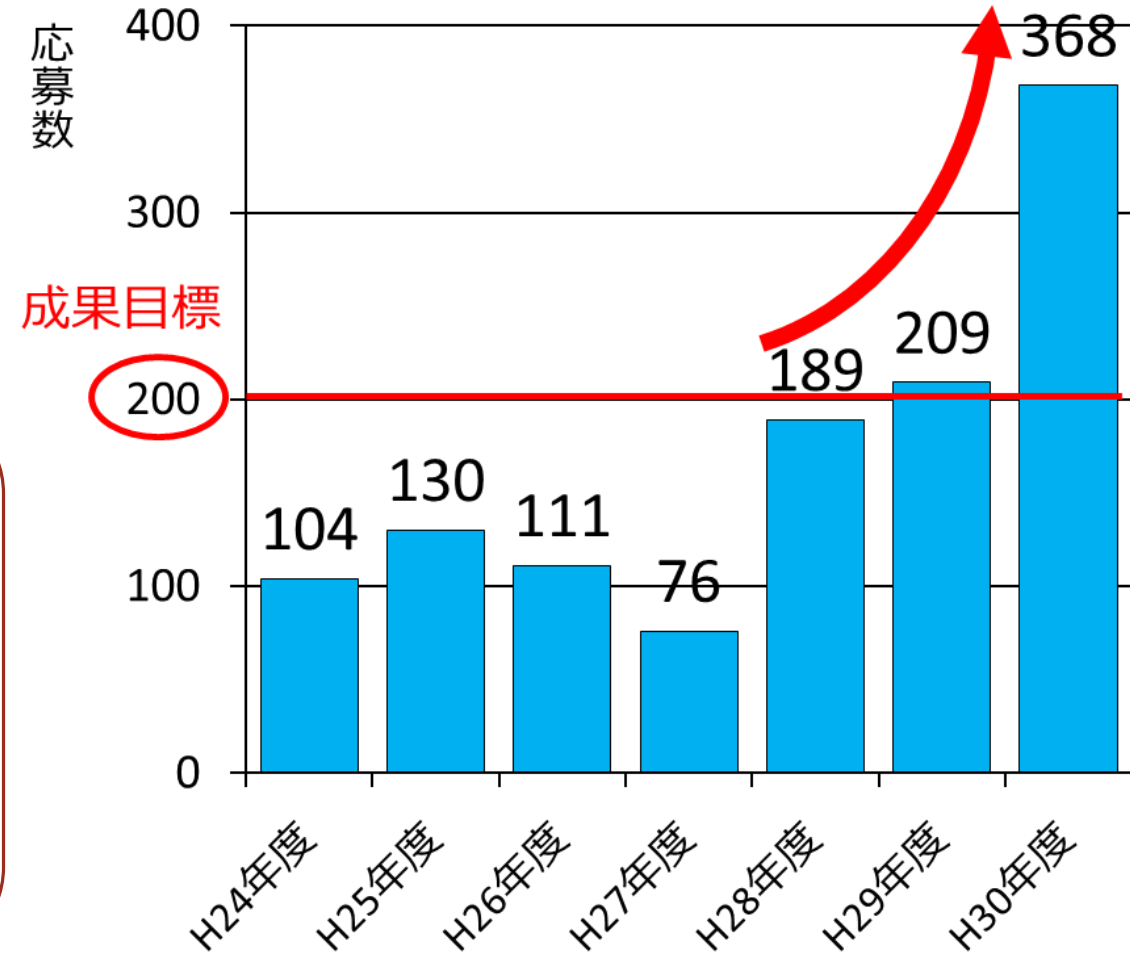


## 現状と実績

- 成果指標は応募作品数
- 毎年200点応募を目標

## これまでの改善策

- 出前講座で担当教諭に積極的アピール  
➔ 平成29年度に目標達成
- 直接児童へ呼びかけ  
➔ 平成30年度に大幅な伸び
- 浄化槽整備区域内の小学校を個別訪問



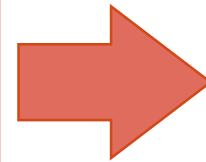
浄化槽整備区域内での応募数増加が課題

## 浄化槽整備区域内での応募を増やすために・・・

### 対応策

#### ○ 浄化槽整備区域内の小学校を重点化

- ・ 出前講座実施先での案内
- ・ 戸別訪問による呼びかけ
- ・ 自治体広報の活用



次年度の事業計画へ

#### ○ 広報効果の評価方法についての検討

# まとめ

適切な役割分担の下、早急に汚水処理施設整備を進めていくために・・・

浄化槽の普及啓発が不十分

地域住民の理解が必要

普及啓発の裾野と輪を広げる

